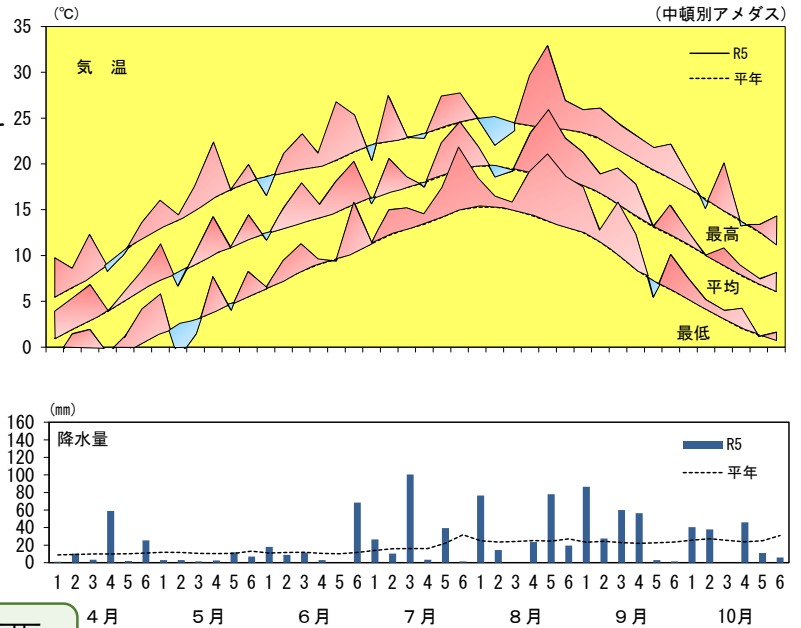


令和5年度の気象経過と農作物生育状況

～今年の収穫に向けて～

気象経過

農耕期（5月～9月）における気温はかなり高く、中頓別町の積算温度は平年より369℃高くなりました。5月の降水量はかなり少なく、日照時間は平年に比べて長くなり、ほ場は乾燥傾向でした。また、6月下旬から断続的に降雨が続き、農耕期の積算降水量は平年より、多くなりました。



牧草の生育経過及び概要

融雪期が平年に比べて11日早い3月29日であったため、萌芽期は4月10日と平年より8日早くなりました。5月の少雨で抑えられていた生育が6月上旬のまとまった雨と高温多照も相まって、草丈はやや徒長気味で回復しました。

1番草収穫作業は平年より3日早く始まり、好転に恵まれ収穫終は平年より1週間程度早く終了しました。

2番草の収穫作業は大雨の影響で、6日遅れで始まりました。降雨もありましたが、天候の回復と同時に急ピッチで収穫作業が進められ、平年並みの9月15日に終了しました。

管内の牧草収量

1番草の生収量は平年比117%でしたが、乾物率が低く、乾物収量は平年比108%でした。2番草も同様の傾向で生収量は平年比119%、乾物収量は平年比101%でした。

(kg/10a, %)

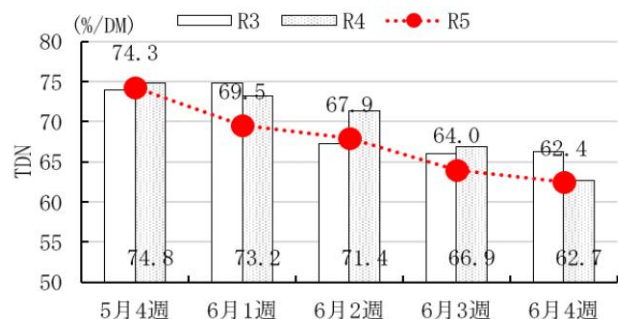
	1番草		2番草		年間	
	生収量	乾物収量	生収量	乾物収量	生収量	乾物収量
R5	2,475	445	1,394	247	3,869	693
平年	2,120	414	1,175	246	3,294	660
平年比	117%	108%	119%	101%	118%	105%

青刈り牧草の飼料成分

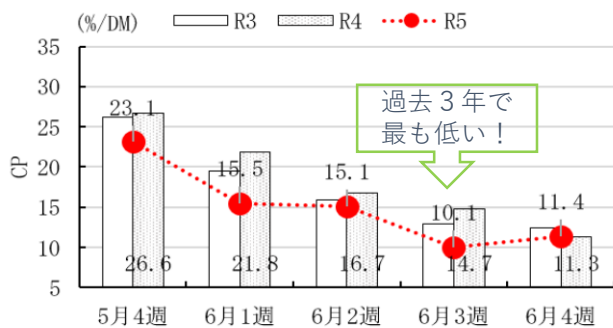
6月中旬から下旬に収穫した牧草において、粗タンパク質含量の低下、繊維含量の増加および繊維消化性の低下が見られました。

【チモシー】

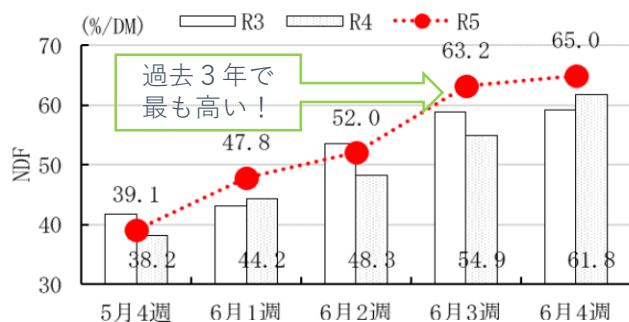
※宗谷農業改良普及センター調べ（協力：雪印種苗（株））



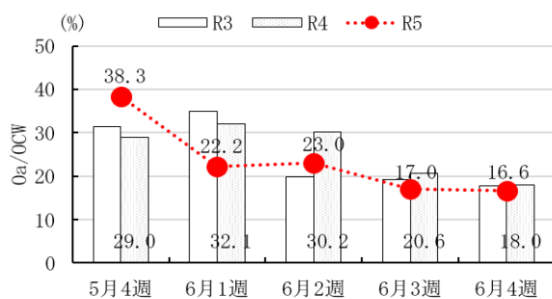
TDN 含量の推移



粗タンパク質含量の推移



NDF 含量の推移



総繊維に占める高消化性繊維割合の推移

今年の収穫にむけて

○スラリー散布は収穫40～50日前までに

スラリーが原料草に付着したまま収穫すると、発酵品質が悪くなります。また、スラリー散布から間もない牧草には、植物体内に硝酸態窒素やアンモニア態窒素が蓄積されている可能性があります。

○収穫調製時における切断長の確認と調整

R5年産の細切サイレージの切断長も確認しておきましょう。

切断長が短いと？

- ・サイロ内の密度が高まることから、発酵品質がよくなり、2次発酵が抑制されます。
- ・ルーメンマット形成不良の可能性（有効繊維の不足）があります。

切断長が長いと？

- ・選び食いの可能性があります。

※万が一、刈り遅れてしまった場合は切断長の設定変更も検討してはいかがでしょうか？



ご自分のサイレージ品質や給与方法を勘案して取り組みましょう！

当センターのHPはこちら

